



石本祐一（コーパス開発センター）

日常会話音声の多様性

- ・日常会話においては、会話の相手・場所・状況などによって、音声特徴がそれぞれ異なる発声が行なわれていると考えられる
 - ・これまでの音声コーパスに収録されている自発発話では、聞き手の属性や収録環境が限られていることから、多様な日常会話の特性を捉えることが難しい
 - 『日本語話し言葉コーパス（CSJ）』：講演・インタビュー
 - 『千葉大 日本語地図課題対話コーパス（MapTask）』：決まった相手との課題遂行対話
 - 『宇都宮大学 パラ言語情報研究向け音声対話データベース（UUDB）』：大学生の友人同士の課題遂行対話
 - 『千葉大学 3 人会話コーパス（Chiba3Party）』：友人との雑談など
 - ・『日本語日常会話コーパス』：様々なタイプの日常会話をバランス良く納めた大規模コーパス
- ➡ **日常会話で生じる自然な日本語音声の特性を調べることが可能！**

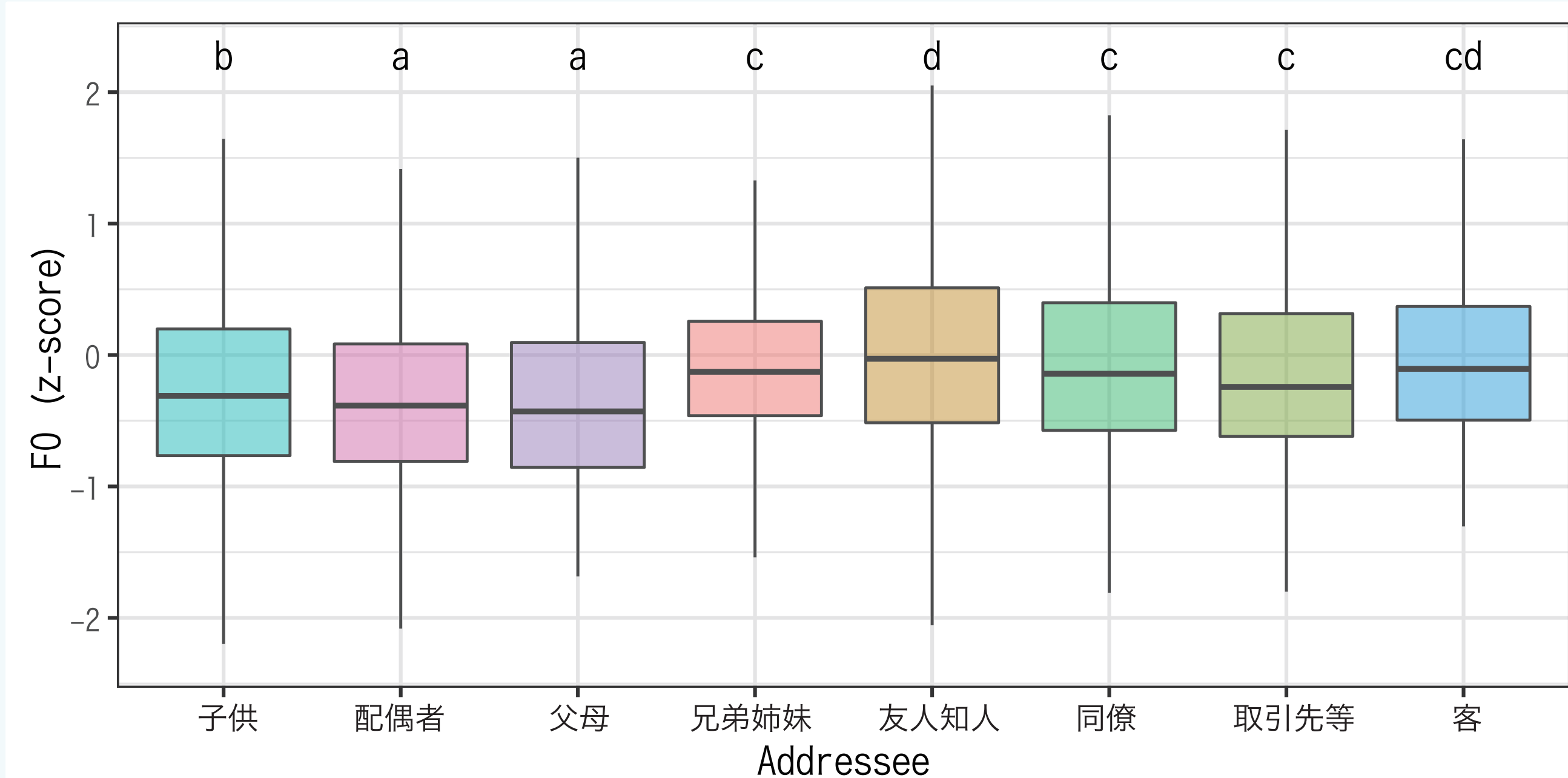


日常会話は多種多様な相手・場面が対象

会話相手と基本周波数の関係

- ・日常会話音声の韻律的特徴のうち、声の高さに関わる基本周波数（F0）に着目し、**日常会話において会話相手の属性によって声の高さが変わるのか**調査した
 - 『日本語日常会話コーパス』モニター版に収録されている収録協力者（インフォーマント）の音声を対象
 - 1ms ごとに F0 を算出し、話者ごとに z-score に変換して正規化 → 発話単位の平均を求めた

■ インフォーマントの F0 とインフォーマントから見た会話相手の立場の関係を見ると ...



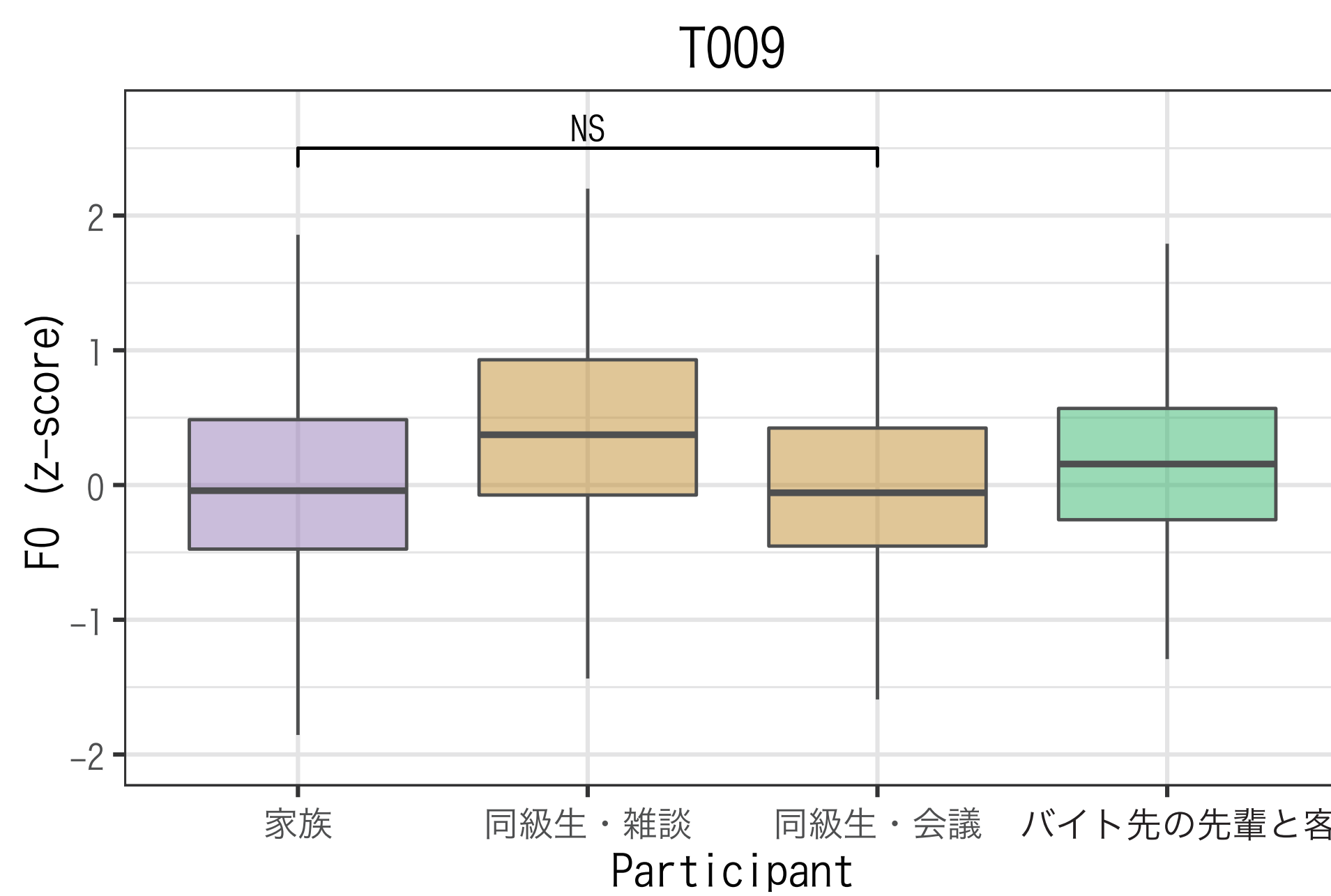
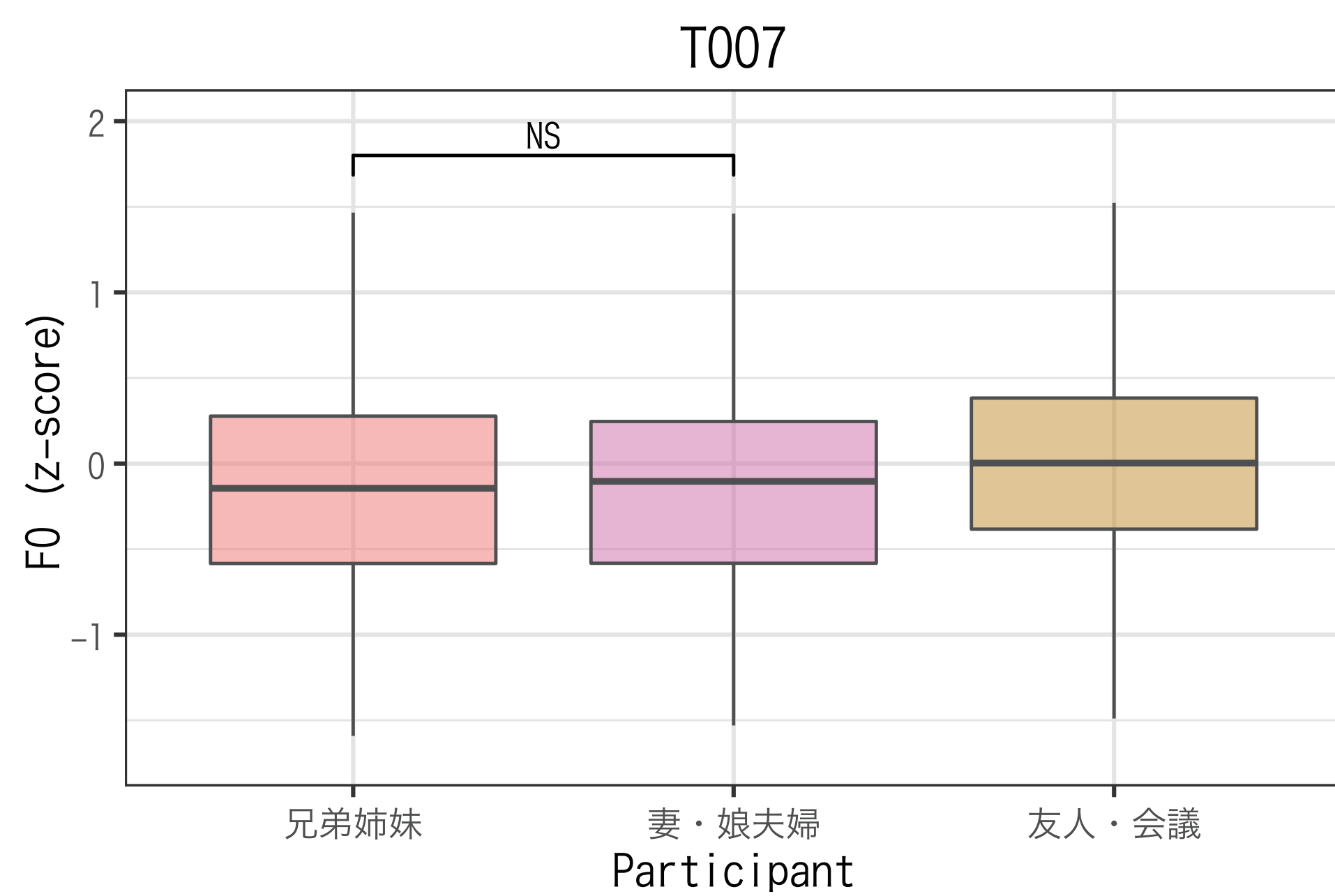
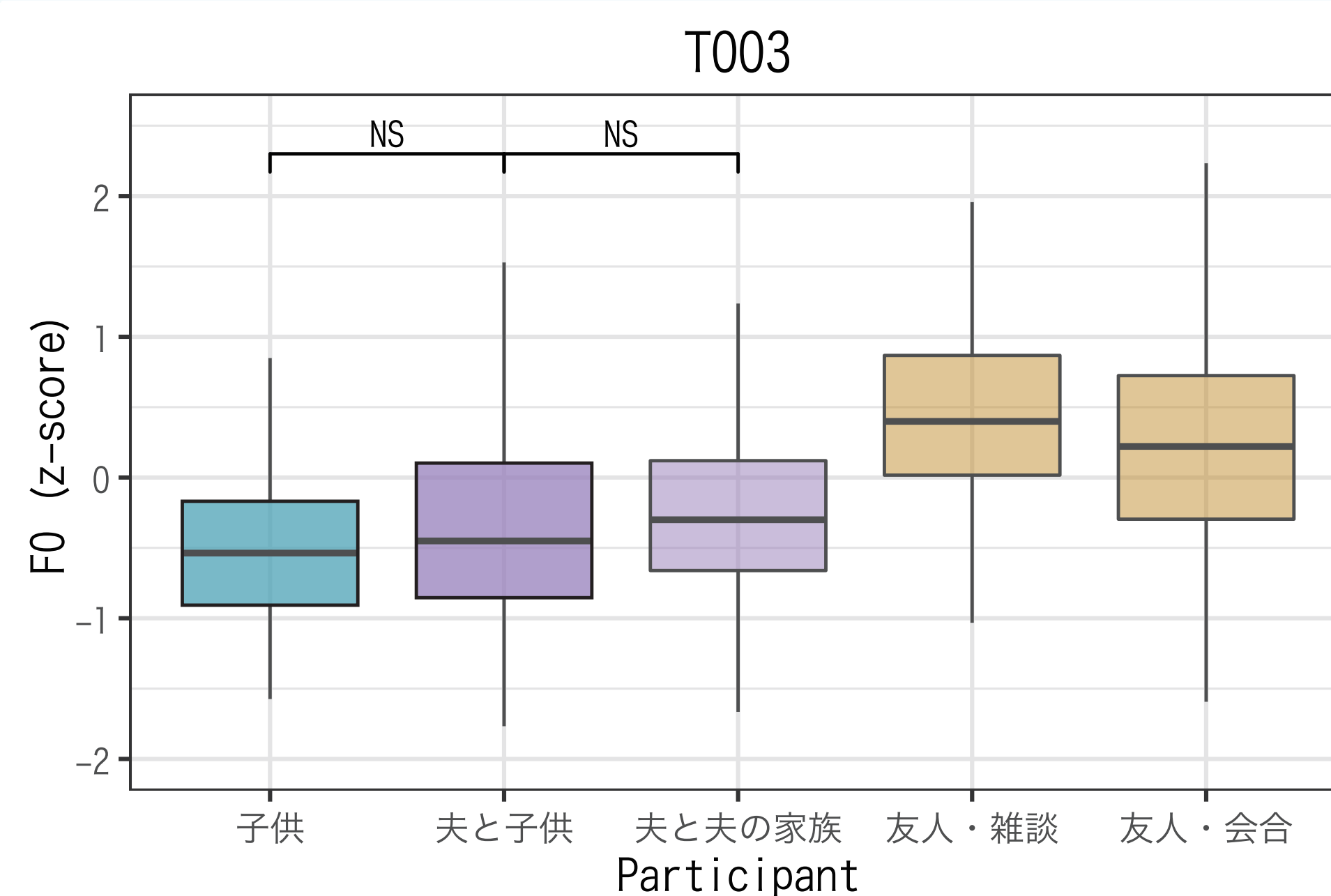
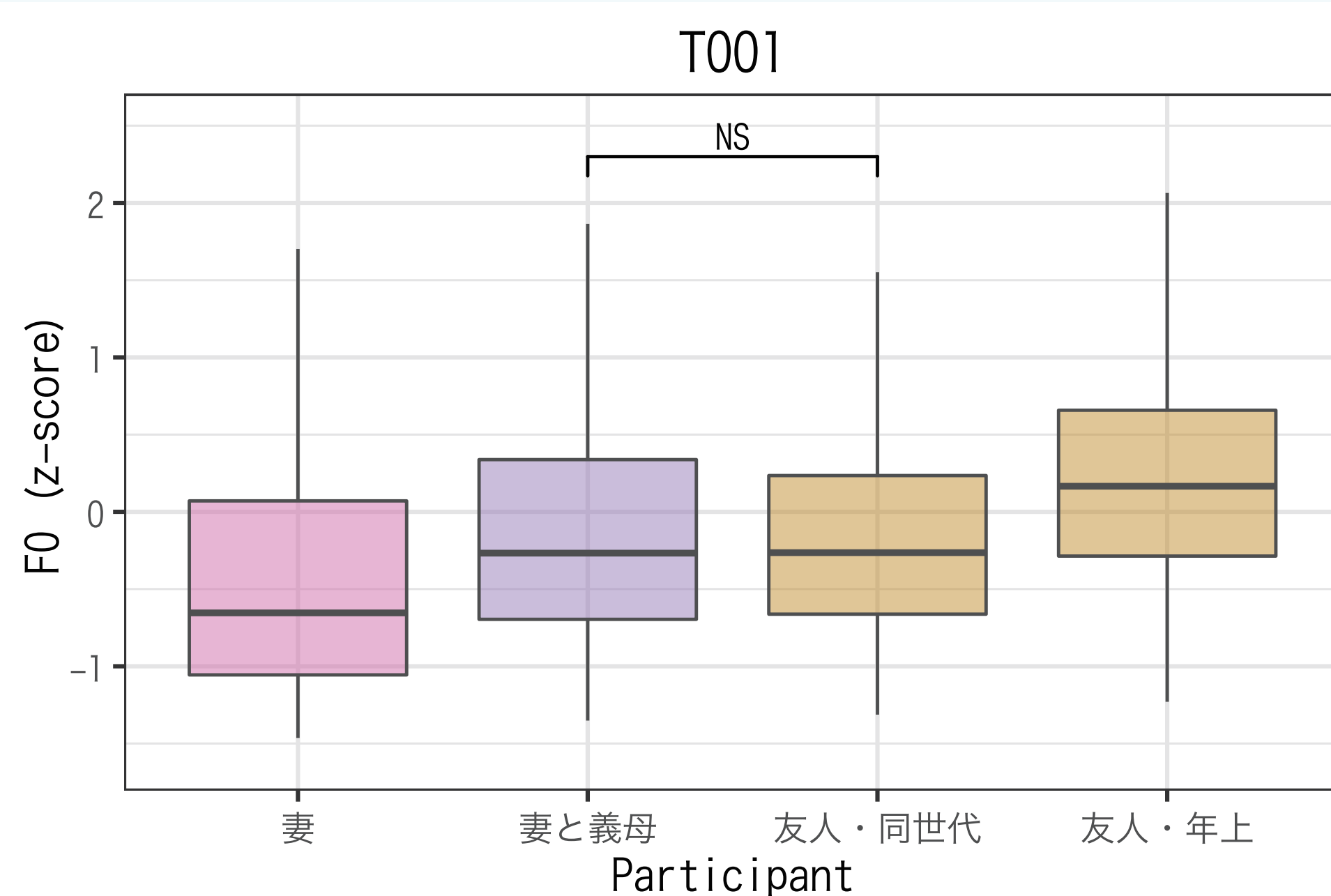
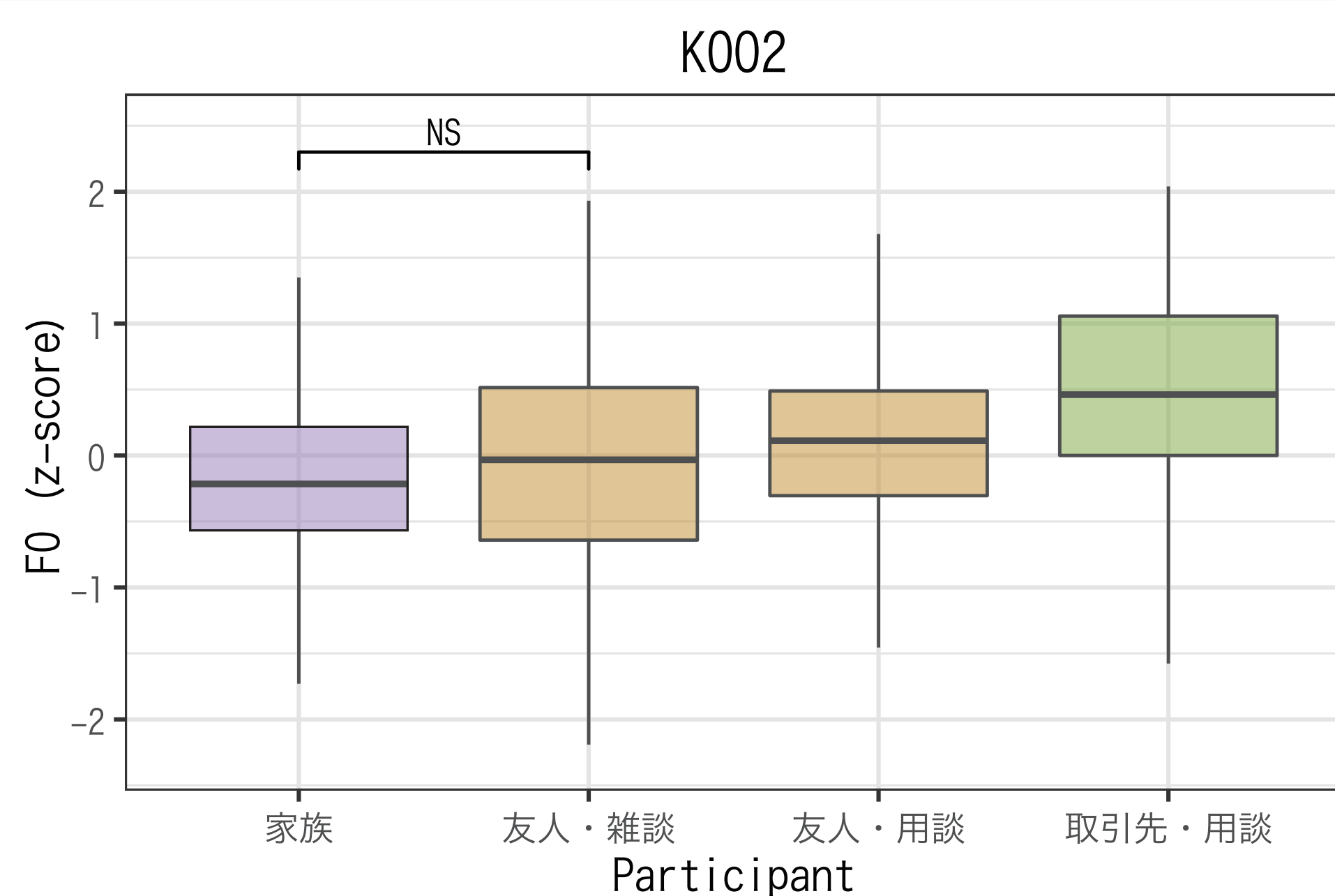
インフォーマントの F0 と会話相手の属性（全体）

- 子供・配偶者・父母が相手の場合には F0 が低くなる傾向がある
- 友人知人が相手の場合が一番高い

インフォーマント

ID	年齢	性別	職業
C001	40-44歳	女性	会社員・役員・公務員・専門職
C002	55-59歳	女性	会社員・役員・公務員・専門職
K001	35-39歳	女性	会社員・役員・公務員・専門職
K002	50-54歳	女性	自営業・自由業
K003	20-24歳	女性	大学生
K004	40-44歳	女性	パート・アルバイト
S001	50-54歳	男性	会社員・役員・公務員・専門職
T001	35-39歳	男性	自営業・自由業
T002	40-44歳	男性	自営業・自由業
T003	35-39歳	女性	専業主婦・主夫
T004	60-64歳	女性	専業主婦・主夫
T006	25-29歳	男性	大学院生
T007	70-74歳	男性	無職・定年退職
T009	20-24歳	女性	大学生
T010	20-24歳	男性	大学生
T013	65-69歳	男性	会社員・役員・公務員・専門職
T015	50-54歳	男性	会社員・役員・公務員・専門職

■ インフォーマントの F0 と会話の同席者との関係を見ると ...



インフォーマントの F0 と同席者の属性

- 共通して、**家族には低い声**で話す → 義母が同席しているとやや高くなる（T001） ➡ 家族間でも違いが生じる
- 用談や会議よりも**雑談は高くなりやすい** → 雑談の方が低くなる場合もある（K002） ➡ 会話内容や状況の分析も必要
- 取引先やバイト先のような**接客場面では高くなる**

- ・**日常生活において、相手の属性によって声の高さを変えている** ➡ 会話場面なども考慮した詳細な分類を行うことで、より明確な特性が得られる可能性がある